

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成24年12月20日 (2012.12.20)

【公開番号】特開2012-208958(P2012-208958A)

【公開日】平成24年10月25日 (2012.10.25)

【年通号数】公開・登録公報2012-044

【出願番号】特願2012-160913(P2012-160913)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/10 (2012.01)

G 0 6 Q 30/02 (2012.01)

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 2 4

G 0 6 F 17/60 1 7 2

G 0 6 F 17/60 1 3 2

G 0 6 F 13/00 5 6 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月25日 (2012.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定のサービスを利用する登録ユーザに関わるオーナー情報を記憶する顧客データベースと、

第 1 のユーザの通信端末からアクセスを受ける手段と、

前記第 1 のユーザの通信端末が備える電話帳に登録されている、第 2 のユーザの個人情報を含む個人情報を吸い上げる手段と、

前記吸い上げた個人情報と、前記顧客データベースに記憶されているオーナー情報とを照合して、前記第 2 のユーザのオーナー情報が、前記顧客データベースに記憶されているか否かを判断する手段と、

前記第 2 のユーザのオーナー情報が、前記顧客データベースに記憶されていると判断されたとき、前記第 1 のユーザが、前記第 2 のユーザとフレンド関係を構築可能であると判断する手段と、

を備える顧客管理サーバ。

【請求項 2】

前記第 2 のユーザのオーナー情報が、前記顧客データベースに記憶されていないと判断されたとき、前記第 2 のユーザに、前記所定のサービスを利用することの招待を含むメッセージを送信可能とする手段、

をさらに備える請求項 1 記載の顧客管理サーバ。

【請求項 3】

前記第 2 のユーザが既登録ユーザであることを教えたくない旨の入力操作を行った場合には、前記第 1 のユーザに対して前記第 2 のユーザが既登録ユーザであることを知らせない

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の顧客管理サーバ。

【請求項 4】

所定のサービスを利用する登録ユーザに関わるオーナー情報を記憶する顧客データベースを備える顧客管理サーバにおいて、個人情報管理する方法であって、

前記顧客管理サーバが、

第1のユーザの通信端末からアクセスを受けることと、

前記第1のユーザの通信端末が備える電話帳に登録されている、第2のユーザの個人情報を含む個人情報を吸い上げることと、

前記吸い上げた個人情報と、前記顧客データベースに記憶されているオーナー情報とを照合して、前記第2のユーザのオーナー情報が、前記顧客データベースに記憶されているか否かを判断することと、

前記第2のユーザのオーナー情報が、前記顧客データベースに記憶されていると判断されたとき、前記第1のユーザが、前記第2のユーザとフレンド関係を構築可能であると判断することと、

を備える個人情報管理方法。

【請求項5】

前記第2のユーザのオーナー情報が、前記顧客データベースに記憶されていないと判断されたとき、前記第2のユーザに、前記所定のサービスを利用することの招待を含むメッセージを送信可能とすること、

をさらに備える請求項4記載の個人情報管理方法。

【請求項6】

前記第2のユーザが既登録ユーザであることを教えたくない旨の入力操作を行った場合には、前記第1のユーザに対して前記第2のユーザが既登録ユーザであることを知らせないことを特徴とする請求項4又は5記載の個人情報管理方法。

【請求項7】

第1のユーザに関わるオーナー情報及び第2のユーザの個人情報を含む複数人の個人情報を登録した電話帳を記憶するメモリと、

所定のサービスを利用する登録ユーザに関わるオーナー情報を記憶する顧客管理サーバにアクセスする手段と、

前記電話帳に登録されている第2のユーザにフレンド申請を行うための入力を行う入力手段と、

前記電話帳に登録された第2のユーザの個人情報を含む情報を前記顧客管理サーバに送信する送信手段と、

を備え、

前記第1のユーザの電話帳に前記第2のユーザの個人情報が登録されていることを前提として、前記第1のユーザが、前記第2のユーザとフレンド関係を構築可能とすることを特徴とする通信端末。

【請求項8】

第1のユーザに関わるオーナー情報及び第2のユーザの個人情報を含む複数人の個人情報を登録した電話帳を記憶するメモリを備える通信端末において、フレンド関係を構築する方法であって、

前記通信端末が、

所定のサービスを利用する登録ユーザに関わるオーナー情報を記憶する顧客管理サーバにアクセスすることと、

前記電話帳に登録されている第2のユーザにフレンド申請を行うための入力を受け付けることと、

前記電話帳に登録された第2のユーザの個人情報を含むフレンド申請を前記顧客管理サーバに送信することと、

を備え、

前記第1のユーザの電話帳に前記第2のユーザの個人情報が登録されていることを前提として、前記第1のユーザが、前記第2のユーザとフレンド関係を構築可能とすることを特徴とするフレンド関係構築方法。